

### 3. ベッドから車いすへの移乗技術

レベル★★★



上のイラストを見て、次の観点から自由に話し合ってみましょう。

- ①どのような危険が考えられるか。
- ②なぜ危険だと考えられるのか。
- ③介護者はどのようにすると危険が防止できるか。

**注意点**

間違い探しではないので、限りなく自由に想像して意見を出し合います。

## 【リスクマネジメント研修 解答・解説】

### 3. ベッドから車いすへの移乗技術

次に示すこと以外にも、もっとたくさんのが考えられるはずである。

#### 〈介護者〉

- ・ 介護者の立ち位置はどうか。介護者は狭い所に利用者の後ろから介助しているが、利用者が前に滑った時に支えられない。また、利用者の表情が見えないため、利用者の動きや気持ちに合わせた介護ができないと考えられる。
- ・ 左のイラストでは、介護者は利用者の手を軽く支えているが、利用者はアームレストの角に触れているだけでしっかりとつかまっておらず、転倒の危険が考えられる。

#### 〈利用者〉

- ・ 着ているものに緩みがあるため、介護者の手が滑って肩関節を脱臼することが考えられる。
- ・ 靴を履いていないため、滑って転倒することが考えられる。
- ・ 右側のイラストでは、アームレストを持っている手が逆手になっている。手をひねり、アームレストの裏のねじで皮膚剥離をすることが考えられる。

#### 〈車いす・ベッド〉

- ・ ブレーキが緩んで、車いすが動くことが考えられる。
- ・ 前輪が横を向いているため、足が挟まることが考えられる。
- ・ 車いすの座布団に滑り止めが施されていないと、滑り落ちることが考えられる。
- ・ ベッドの布団がきちんと畳まれていないため、利用者が手を着いた時に滑って転倒することが考えられる。

#### 〈介護者の取るべき行動〉

以下のような内容を検討しておこう。

- ・ 利用者の所に行く前に車いすの点検をする。
- ・ 利用者と同じ向きに介護をする。目線が見える位置に立つ。
- ・ 布団はきちんと畳む。
- ・ 肩ではなく体幹を支える。
- ・ 靴を履く。
- ・ 車いすのブレーキを確認する。
- ・ 足の位置を確認する。

#### 【参考文献】

1) 古澤章良:福祉施設における危険予知訓練(KYT)かんたんガイド, P.1~7, 簡井書房, 2010.